

お知らせ

2021(令和3)年10月8日



「青函トンネル」「岩手一戸トンネル」に続く工事記録“第3弾”

## 「多摩川をわたる 沈埋トンネル」

～極軟弱地盤に挑み、沈埋工法による施工技術を開発～

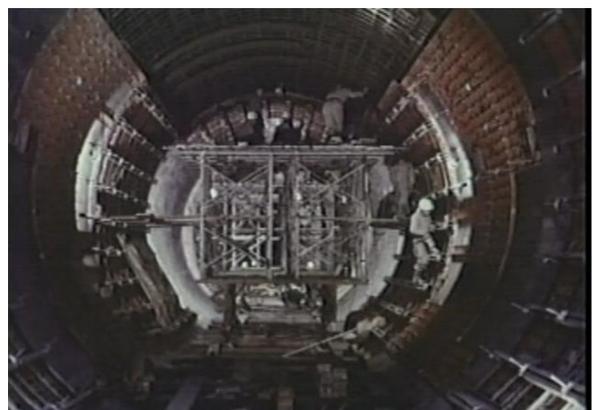
鉄道・運輸機構（JRTT）による京葉線建設（当時）で施工された「羽田トンネル」の多摩川横断部分においては、「沈埋工法」が採用されました。本工事は昭和42年12月に着工され、長さ80メートルの沈埋函を合計6函繋ぎ沈設。沈埋工法により極軟弱地盤に挑んだ工事記録を公開いたします。（この動画はJRTTの前身である日本鉄道建設公団が昭和45年に制作）

沈埋工法とは、陸上または水面上で制作したプレハブ型式のトンネル（沈埋函）を敷設現場まで曳航し、所定の位置に沈埋して既設部分と連結後、埋め戻しを行いトンネルを完成させる工法です。

著しい地盤沈下にも追従できる水密性及び耐久性に優れた沈埋函柔結合継手を開発し、都市型土木における極軟弱地盤での水底トンネルの施工技術の進歩に貢献した工事記録となります。



【工事状況】



企画 日本鉄道建設公団（現名称 鉄道・運輸機構）

制作 株式会社日本映画新社（現運用会社 株式会社東宝ステラ）

＜本件に関するお問合せ先＞

本社 広報課 TEL 045-222-9101



ウェブサイト



YouTube  
公式アカウント